

## ぬのめ 布目ダム 豪雨による急激な出水から下流域を守る

よどがわすいけいぬのめがわ みずしげんきこう ぬのめ  
淀川水系布目川の水資源機構が管理する布目ダム流域では、9月6日（土）、前線の通過に伴い、流域平均で1時間の最大雨量が44mm、総雨量が92mmの降雨があり、ダムへの流入量は、降り始めから約3時間で洪水量（毎秒100立方メートル）に達し、最大流入量は毎秒約151立方メートルを記録しました。

この洪水に対して、布目ダムでは、ダム下流で浸水被害の恐れがあったため、防災操作※を実施し、ダムに約747千立方メートルを貯留しました。これにより、ダム下流の布目川興ヶ原<sup>おくがはら</sup>水位観測所付近で、河川水位を最大約2.0m低減（推定）させ、下流河川沿岸の浸水被害軽減に努めました。

※防災操作：大雨により、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的にため込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。



平成26年9月8日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

県政・経済記者クラブ

奈良市市政クラブ

### 問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長 <sup>ささき</sup>佐々木

住所：三重県名張市下比奈知2811-2

電話：0595(64)8961(代表)

## 布目ダム 豪雨による急激な出水から下流域を守る

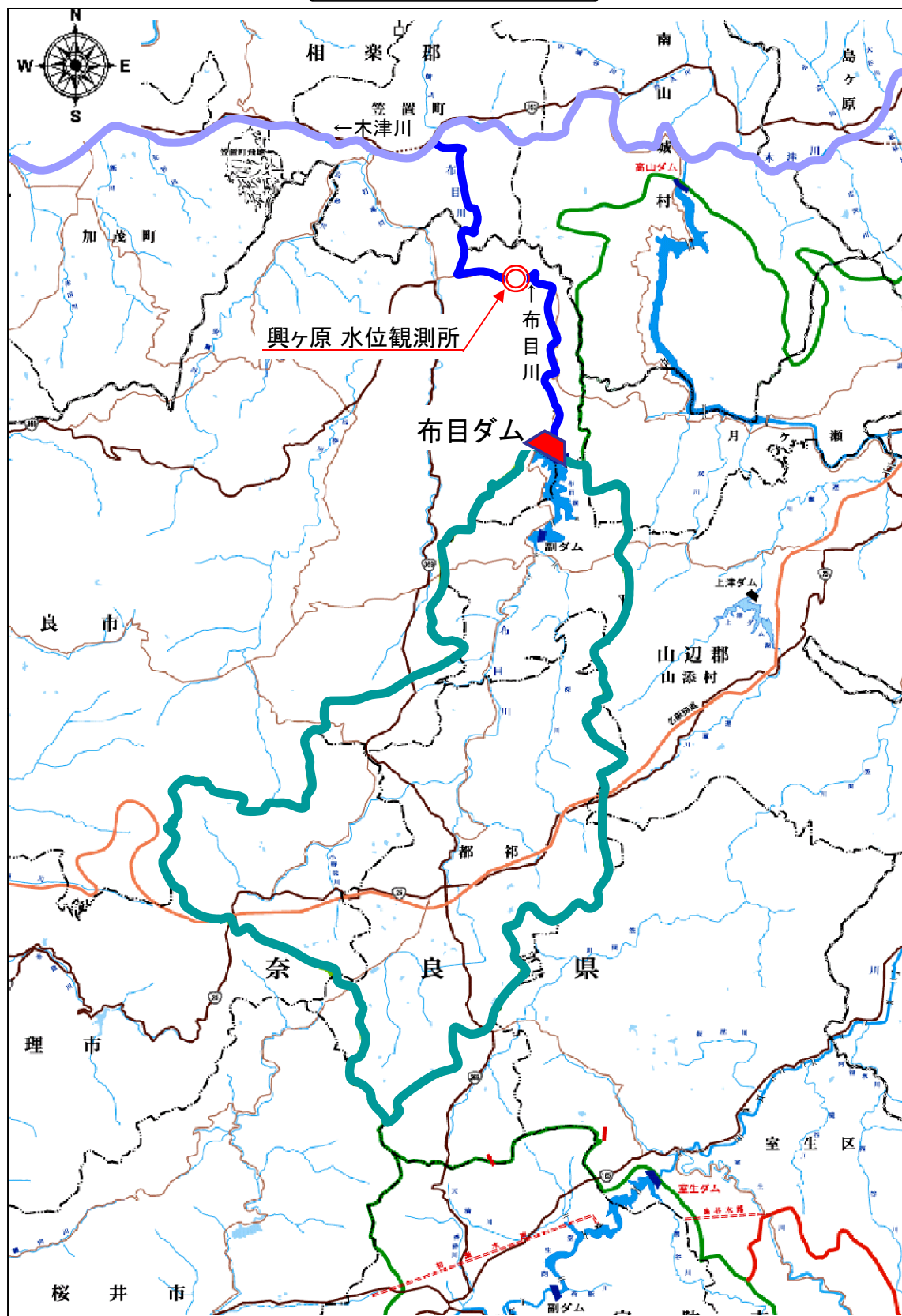
9月6日（土）、17時頃より降り始めた前線に伴う降雨は、淀川水系布目川の布目ダム（奈良県奈良市）上流域で、9月6日（土）18時から19時の1時間の雨量が最大44mm、総雨量は92mmに達しました。また、ダムへの最大流入量は毎秒約151立方メートルを記録し、ダムに約747千立方メートルを貯留しました。

この降雨により、流入量が急激に増加し、降雨の降り始めから約3時間後の9月6日（土）19時50分には洪水量（毎秒100立方メートル）に達し、防災操作を開始しました。

この結果、ダム下流の興ヶ原<sup>おくがはら</sup>水位観測所では、ダムが無い場合に比べて河川水位を最大約2.0m低減したと推定され、下流の浸水被害軽減に努めました。

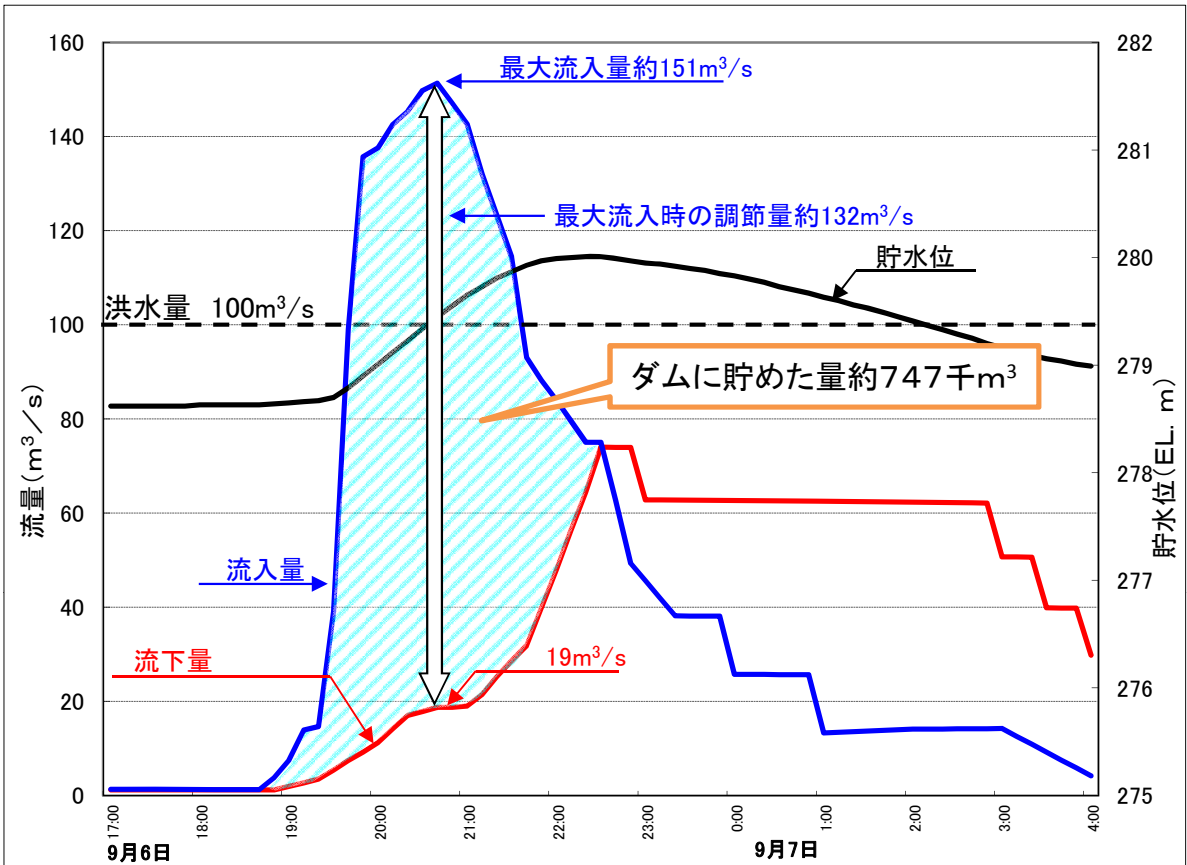
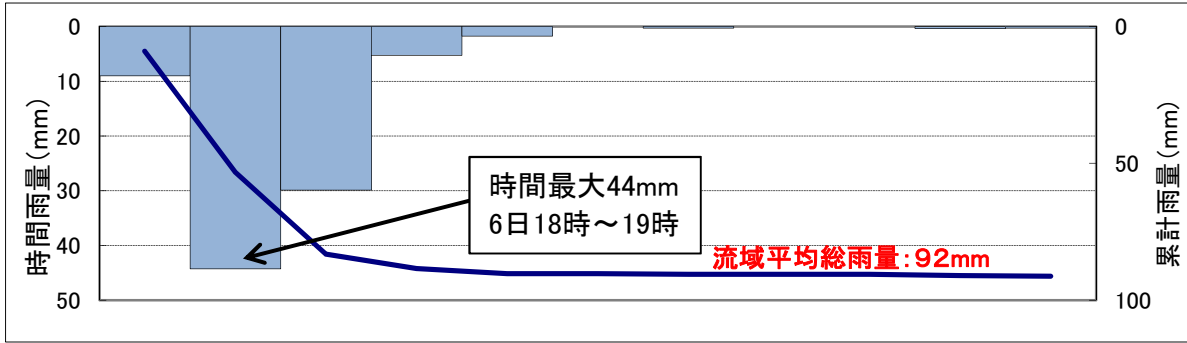
布目ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

布目ダム流域平面図



木津川 布目川 布目ダム流域

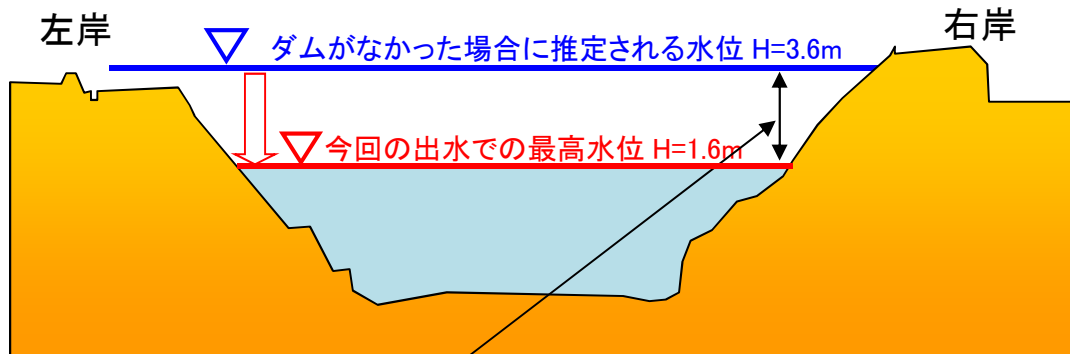
布目ダム洪水調節図(平成26年9月6日 前線による出水)



布目ダム下流河川の状況

布目ダムの防災操作状況(興ヶ原地点)

※興ヶ原地点は、ダムから約6km下流の地点



ダムにより水位は約2.0m低減されたものと推定されます。